

小野達也

Contents

- * 静岡県議会報告
- * 委員会報告
- * 小野達也活動報告

有言実行!!みんなとともに

発行：静岡県議会議員 小野達也事務所

〒414-0002 静岡県伊東市湯川1-6-2
TEL.0557-36-2089 FAX.0557-36-2080

県議会6月定例会にて一般質問

県の観光施策について、国土強靱化に即した県土整備について

6月27日、県議会6月定例会本会議において一般質問に立ちました。質問と答弁について、概略を報告いたします。

1 県の観光施策について

①伊豆半島ジオパークの推進

質問 伊豆の観光が低迷する中で、ジオパークに対する期待は大変大きく、一刻も早い世界加盟が待たれる。

国内推薦を得て、世界加盟を確実に勝ち取るために、さらに取り組みを強化するべきと考えるが、県の所見はいかがか。

答弁 熱海駅や伊豆急下田駅へのPR看板や、伊豆半島を走る路線バスや鉄道を利用した集中的なPRを開始し、伊豆半島全体での気運の盛り上がり努めている。今後は、点在するピタースターの連携を強化する中央拠点施設への支援も行う。県では、引き続き協議会の活

動を全面的に支援し、世界加盟を実現したい。

②国内観光誘客の促進

質問 県議会では、県市町、県民、観光事業者及び観光関係団体が丸となった地域の魅力を高め、観光施策を総合的に推進することにより、豊かで活力に満ちた地域社会の実現を目指した「静岡県観光振興条例」を早急に上程できるよう、検討会を構成し活動しているが、県では今後、どのように国内観光誘客を進めていくのか。

答弁 圏央道の相模原愛川～高尾山の開通により、埼玉、群馬など北関東地域が新たな誘客市場となる。

交通の利便性を前面に打ち出した観光プロモーションや、観光説明会・商談会を官民が連携し、誘客の促進に努める。

③外国人観光客の誘客促進

質問 伊東市では中国人、台湾人の観光客を見かける機会が多くなったが、韓国人観光客については減ってきている。さらに、大韓航空の運休が発表され、韓国からの観光誘客には大きな痛手になると懸念している。

今後の外国人観光客、特に韓国人の誘客対策について伺う。

答弁 個人客の割合が高く、短期旅行を好む市場特性を踏まえ、現地旅行会社とPRをしている。

また、韓国で人気のアウトドアスポーツをテーマにファムトリップを実施したところ、好評を得て商品化の動きもある。

今後、ニーズに合った商品企画を行うとともに、専門誌やテレビショッピングを活用した情報発信を行う。

④ホテル・旅館の耐震化

質問 建築物の耐震改修の促進に関する法律が改正されたが、ホテル・旅館などの耐震化を進めるにあたり、未だ課題があると聞いている。耐震化を円滑に進めるためには、国、県、市町が一体となつて、対象建造物の所有者の実情に配慮した施策展開が重要と考えるが、どのように耐震化を推進していくのか。

答弁 所有者の費用負担軽減を図る補助金制度の予算を増額するとともに、耐震化に取り組みやすい制度となるよう、内容の見直しを行った。

耐震改修に対する補助制度が未整備の市町に対しては、制度の創設を働きかける。

2 国土強靱化に即した県土整備について

①伊豆地域の河川の護岸整備、津波対策

質問 河川の護岸整備や津波対策は国土強靱化基本法において「強さ」「しなやかさ」をもった社会に向け推進することになっているが、伊豆地区における河川整備、津波対策は、どのように取り組んで行くのか。

答弁 現在、浸水被害が発生した地域を優先して河川整備を進めている。津波対策については、静岡県地震・津波対策アクション

プログラム2013に位置づけした河川において、整備に向け調査設計を進めている。

ハード整備のみならず、ソフト対策も合わせ、防災力、減災力の強化を進める。

②伊豆半島の道路網の整備

質問 伊豆半島の背骨となる伊豆縦貫道は、一刻も早い全線開通が求められる。また、一体となつて機能する助骨道路や海岸沿いの国道も、半島の強靱化のため重要である。骨格となる幹線道路の整備について伺う。

答弁 伊豆縦貫道と一体となつて機能する国道136号下船原バイパスなどの整備や、135号の伊東市内において4車線化を進めるほか、新たに県道伊東大仁線を緊急輸送路に指定し、整備を進めている。

③森林整備の進捗

質問 国土強靱化の推進方針において、ハード対策だけでなく、森林整備の推進がもたらされておられるが、県ではどのように取り組んでいくのか。

答弁 スギ・ヒノキ人工林は、木材を搬出利用する利用間伐を重点的に促進している。

所有者による整備が困難で荒廃した森林は、森の力再生事業などにより、整備を進め、伊豆地区に多くみられる広葉樹の間伐も本事業を活用する。

④美しい農山村の保全

質問 耕作放棄地増加の問題もあり、里山の自然環境や景観、伝統など、価値ある地域資源の減少が懸念される。

美しい農山村を保全し、豊かな自然環境を次世代に継承する

ため、小規模農業が継続できる環境づくりが必要と考えるが、県の考えはどうか。

答弁 耕作放棄が懸念される農山村の小規模農業は、ボランティア組織による営農活動や農地の復元作業等を支援している。

今後は、農山村の魅力を情報発信するとともに、支援体制を強化し、美しい農山村の保全に努める。

文教警察委員会
委員会審査

本年度、私が委員長を務めます県議会文教警察委員会が7月2日3日の二日間にもわたり開催されました。

まず公安委員会の審査を行いました。今回の付託議案は第130号議案「県有財産の取得について」の1件でした。県警へのエンジン交換（法定の限界使用時間に達するため）とその期間における出勤要請への対応について質し、採決は全会一致で可決されました。

次に、教育委員会に対し、県が考える適切な特別支援教育等についてを質し、県として多様な学びの場を保障していきたいとの答弁を得ました。



ワールドカップ 日本代表応援行事

3月30日

キャンプ地「イトゥー」にちなみ伊東市のサッカー少年団80人が集まり、全国の前陣を切って応援の声をあげました。



奥野ダム管理用 小水力発電設備完成式

3月27日

県内で初めてのダム機能を活用した小水力発電設備です。建設委員長在任時の事業化に責任と喜びを感じました。



活動報告 観光振興条例 検討委員会

3月14日

観光振興条例検討委員会が開催されました。関係団体からの意見をお聞きし条例制定に向け前進させてまいります。



臨時県議会

5月15日

副知事2名を選任し静岡県政史上で初めて3名の副知事となる極めて重要な議案が知事から上程されました。



按針メモリアルパークに 観光案内の表示板

4月25日

設置には県の観光施設整備事業の補助金が交付されました。今年度には周辺の改修工事も決定しています。



国土交通大臣政務官に 対して要望の申し入れ

4月10日

国土交通省に出向き、鉄道事業者の近代化整備(耐震化)に協力を頂きたいと要望申し入れを行いました。



伊東市消防団 ポンプ操法競技会

5月25日

晴天に恵まれて、今年度のポンプ操法競技会が東小学校グラウンドで開催されました。



ゴミ0運動

5月25日

ゴミ0運動に参加いたしました。今年は45団体、1440名が海岸や伊東市内各所を清掃されました。



伊東市手をつなぐ 育成会総会

5月23日

伊東市役所において定時総会が開催され、たくさんの方々に表彰状・感謝状が山本真由美会長から贈呈されました。



富岡製糸場視察

6月19日

明治5年に建設され当時のまま保全されています。6月21日に世界遺産に登録されました。



福島第一原子力発電所 視察

6月18日

毎日3000名の工事関係の皆さんが働いて、1～6号機を廃炉するに要する年月は40年を見込んでいるそうです。



人口減少対策 特別委員会

6月11日

今年度設置されました。具体的なテーマを絞り込み、人口減少の抑制策を中心に調査を進めることとなりました。



小野がやります!

鎌田道路 (主)伊東西伊豆線 道路拡幅

道路拡幅

(主)伊東西伊豆線道路拡幅工事(事業費2600万円うち本年度増額分800万円。)がまもなく完了します。



水産政策に関する 勉強会

7月3日

静岡市内で行われました。要望申し入れとしては、軽油取引税の減免措置など5項目があげられました。



JAあいら伊豆総代会

6月24日

来賓としてお招き頂きました。役員改正により、新しく土屋組合長が選出され各理事・監事も選出されました。

県政・伊東市に対する皆さまのご意見、ご要望をお聞かせください。

静岡県議会議員 **小野達也 事務所**
TEL.0557-36-2089

〒414-0002 静岡県伊東市湯川1-6-2 FAX.0557-36-2080

公式サイト www.ono-tatsuya.com/
携帯サイト www.ono-tatsuya.com/mobile/
E-mail ono-tatsuya@bird.ocn.ne.jp



小野達也

検索

